

歯周治療の流れ

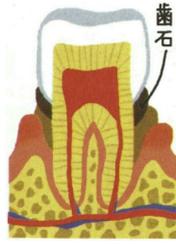
歯周病軽度

磨き残した**歯垢**から酸がでて、**歯ぐき**が赤っぽく腫れます。この時点では歯の動揺も痛みもありません。放っておくと歯ぐきだけでなく、歯を支える骨にまで炎症が広がります。



歯周病中度

歯垢が石灰化して**歯石**となり、**歯肉ポケット**ができます。出血したり、ウミが出たりします。骨の破壊が進み、歯ぐきが下がってきて、歯が少しぐらついたり、口臭がひどくなったりします。



歯周病重度

歯ぐきの骨がほとんど破壊され、歯も上下にも動くようになります。痛みもあり、食べ物を噛むこともできません。最後にはちょっとした刺激で歯が抜けてしまいます。



① 歯周組織検査



歯周ポケットの深さや出血の有無、歯が動いてないかなどを調べます。歯周ポケットの深さは1mmから3mmまでが健康な状態。**4mm以上だと要注意です！**

② 縁上歯石除去（スケーリング）



歯と歯ぐきの境目付近に付着している歯石を**スケーラー**という器具を使って取り除いていくのが**スケーリング**。歯肉が腫れていると痛いので、腫れがおさまってきてから行う場合もあります。いくつかのブロックに分けて、丁寧に取り除いていきます。



磨き残しが歯石となってびっちり付着しています。



スケーリング後

③ 歯周組織検査2回目

軽度の場合

中度の場合

重度の場合

治癒・その他の治療
定期健診へ・・・

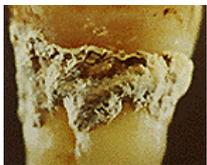
④ 縁下歯石除去（SRP）



歯周ポケットが深くなり、歯肉の奥深く歯石が着いている時は、**ルートプレーニング**を行います。**歯根の深い部分の歯石**をとり、**歯の表面をツルツル**にしていきます。出血してびっくりなさる方もいらっしゃいますが、ご心配なさらないで下さい。

※ 歯周治療と並行して、定期的な**ブラッシング**指導を行います。磨き残しを赤く染め出し、効果的な歯みがき法をお教えします。

※ 歯石とは？



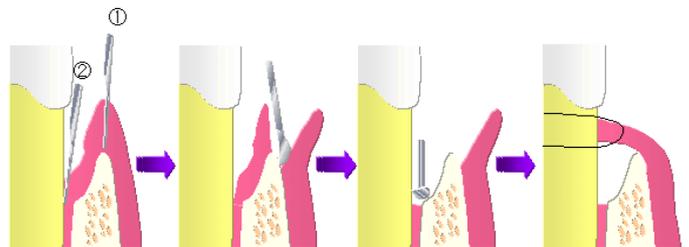
⑤ 歯周組織検査再評価

中度の場合

重度の場合

治癒・その他の治療
定期健診へ・・・

⑥ 歯周外科治療を行うこともあります



- ①1次切開 (内斜切開)
- ②2次切開 (内肉溝切開)
- ③フラップの剥離 (全層弁)
- ④肉芽の搔爬
- ⑤スケーリング・ルートプレーニング
- ⑥縫合 歯周バック

※ 詳しくご説明いたします。

歯石は、歯垢（プラーク）がだ液などに含まれるカルシウムやリンなどにより、石灰化して石のように固まったものです。歯石の表面は歯垢（プラーク）が付着しやすい状態になっていますので、どんどん歯石は増えていきます。歯石は石のように固まっていますので、歯科医院でしか取り除くことができません。定期的な健診を受診されることをお勧めします。



歯科・小児歯科
なかむら歯科